

Hiramatsu
Hiramatsu Inc.

2016年5月16日
東証1部：2764

2016年3月期（第34期） 決算説明資料

株式会社 ひらまつ

業績報告

34期実績・35期見通し

連結業績要約

新店の寄与に加え既存店が堅調に推移し、過去最高売上を更新。経費面においては以下の影響により、利益率が昨年と比べ低下し減収。

- ① 期初におけるユーロ高や原材料費の高騰による原価率の上昇。
- ② 新規ホテル事業等の重要な基礎作りとしての前向き且つ積極的な投資による費用拡大。(積極的な人員強化、開業準備費用の増加)

(単位:百万円)

	2015年3月期(33期)実績		2016年3月期(34期)実績		前期比
		構成比		構成比	
売上高	11,329	100.0%	11,815	100.0%	+4.3%
営業利益	2,708	23.9%	2,360	20.0%	▲12.9%
経常利益	2,776	24.5%	2,353	19.9%	▲15.3%
純利益	1,791	15.8%	1,577	13.4%	▲11.9%
1株当たり純利益(円)	45.61	—	41.88	—	▲8.2%
1株当たり配当金(円)	15.60	—	16.67	—	+6.9%

■ 34期の中間配当金は8.00円、期末配当金は8.67円。配当性向は39.8%、総還元性向は165.7%

貸借対照表要約

総資産は987百万円減少し15,167百万円。
ROA、ROE共に業界で異次元の高水準を維持し、
前向きな投資を推し進めながらも、安定的な経営を推進。

(単位:百万円)

	2015年3月期 (33期)	2016年3月期 (34期)	増減
総資産	16,154	15,167	▲987
現預金	5,391	2,801	▲2,589
有形固定資産	6,576	8,218	+1,642
負債	10,280	10,295	+14
有利子負債	8,269	8,386	+116
純資産	5,874	4,871	▲1,002
利益剰余金	6,897	7,861	+963
自己株式	▲3,941	▲5,771	▲1,829
ROA (総資産経常利益率)	19.8%	15.0%	—
ROE	30.6%	32.4%	—

POINT

総資産

現預金2,589百万円減少
有形固定資1,642百万円増加

負債

有利子負債116百万円増加

純資産

利益剰余金963百万円増加
自己株式1,829百万円減少

CF計算書要約

営業CFは1,829百万円獲得と営業CFにおいても業界で比類ない高水準を維持。新規出店のための固定資産取得等により、現金残高は2,801百万円。借入は金融緩和の影響による低金利調達を継続。

(単位:百万円)

	2015年3月期 (33期)	2016年3月期 (34期)
税金等調整前当期純利益	2,776	2,355
法人税等の支払額	▲1,039	▲966
営業キャッシュフロー	1,919	1,829
固定資産の取得による支出	▲2,292	▲1,933
投資キャッシュフロー	▲2,292	▲1,958
短期及び長期借入れによる収入	6,030	3,000
有利子負債の返済による支出	▲2,230	▲2,883
自己株式の売却・取得による収入・支出	▲610	▲1,999
配当金の支払額	▲594	▲613
財務キャッシュフロー	2,631	▲2,455
現金及び現金同等物期末残高	5,391	2,801

POINT

営業キャッシュフロー

- ①税金等調整前当期純利益により
2,355百万円獲得
- ②法人税等の支払により966百万円支出

投資キャッシュフロー

固定資産の取得により1,933百万円支出

財務キャッシュフロー

- ①長期借入れにより3,000百万円獲得
- ②有利子負債の返済により2,883百万円の支出
- ③自己株式の取得により1,999百万円の支出
- ④配当金の支払等により613百万円の支出

連結業績予想

34期にオープンした2店舗が通期寄与することに加え、
いよいよ35期に本格稼働する新規ホテル事業
「THE HIRAMATSU HOTELS&RESORTS」における
3つのホテル出店等により増収増益を見込む。
経費面において、今後の事業拡大に向けた前向き且つ積極的
な投資による費用を見込み、経常利益率は23%に設定。

(単位:百万円)

	2016年3月期(34期)実績		2017年3月期(35期)見通し		前期比
		構成比		構成比	
売上高	11,815	100%	12,310	100%	+4.2%
営業利益	2,360	20.0%	2,815	22.9%	+19.3%
経常利益	2,353	19.9%	2,831	23.0%	+20.3%
純利益	1,577	13.4%	1,950	15.8%	+23.7%
1株当たり純利益(円)	41.88	—	55.56	—	+32.7%
1株当たり配当金(円)	16.67	—	20.00	—	+20.0%

35周年記念 配当について

従来の配当の基本政策として、株主の皆様へ「安心と安全」をお届けするため、業績に裏付けられた成果の配分として、配当性向30%超を最低配当金額として設定。今期は、当社の創業35周年でもあることから、より積極的に株主の皆様へ還元すべく、従来の配当性向30%に20%上乗せした配当性向36%を35周年記念配当とします。

	2016年3月期 (34期) 最低配当金額	2017年3月期 (35期) 最低配当金額	前期比
中間配当金	8.00円	9.00円	+12.5%
期末配当金	8.67円	11.00円	+26.9%
配当金総額	16.67円	20.00円	+20.0%
配当性向	30.1%	36.0%	—

■ 期末の段階で、最終的な当期純利益に配当性向36%を乗じて計算した配当額が20円を上回る場合、期末配当金に超過額を加算し増配

35周年記念 優待について

当社創業35周年の記念として
記念株主優待を実施。

35周年記念優待の内容	
5単元(500株)以上保有	10,000円毎に1,000円分として ご利用頂ける優待券5枚(5,000円) 
1単元(100株)～5単元(500株)未満保有	10,000円毎に1,000円分として ご利用頂ける優待券1枚(1,000円) 

- 平成28年9月30日現在の株主名簿に記載された株主様に送付。
- 利用期間は平成29年1月～6月まで。

今後の展望

経営体制の強化

当社の経営課題であった後身の育成を成し得、スムーズな事業承継が可能と判断。創業者である平松博利に大きく依存していたリスクを軽減し、盤石な経営体制へ。

新経営体制

会長

平松 博利

- ホテル事業を中心とした新規事業の開発
- マーケティング、店舗開発
- 幹部社員の育成

代表取締役社長

陣内 孝也

代表取締役副社長

服部 亮人

取締役

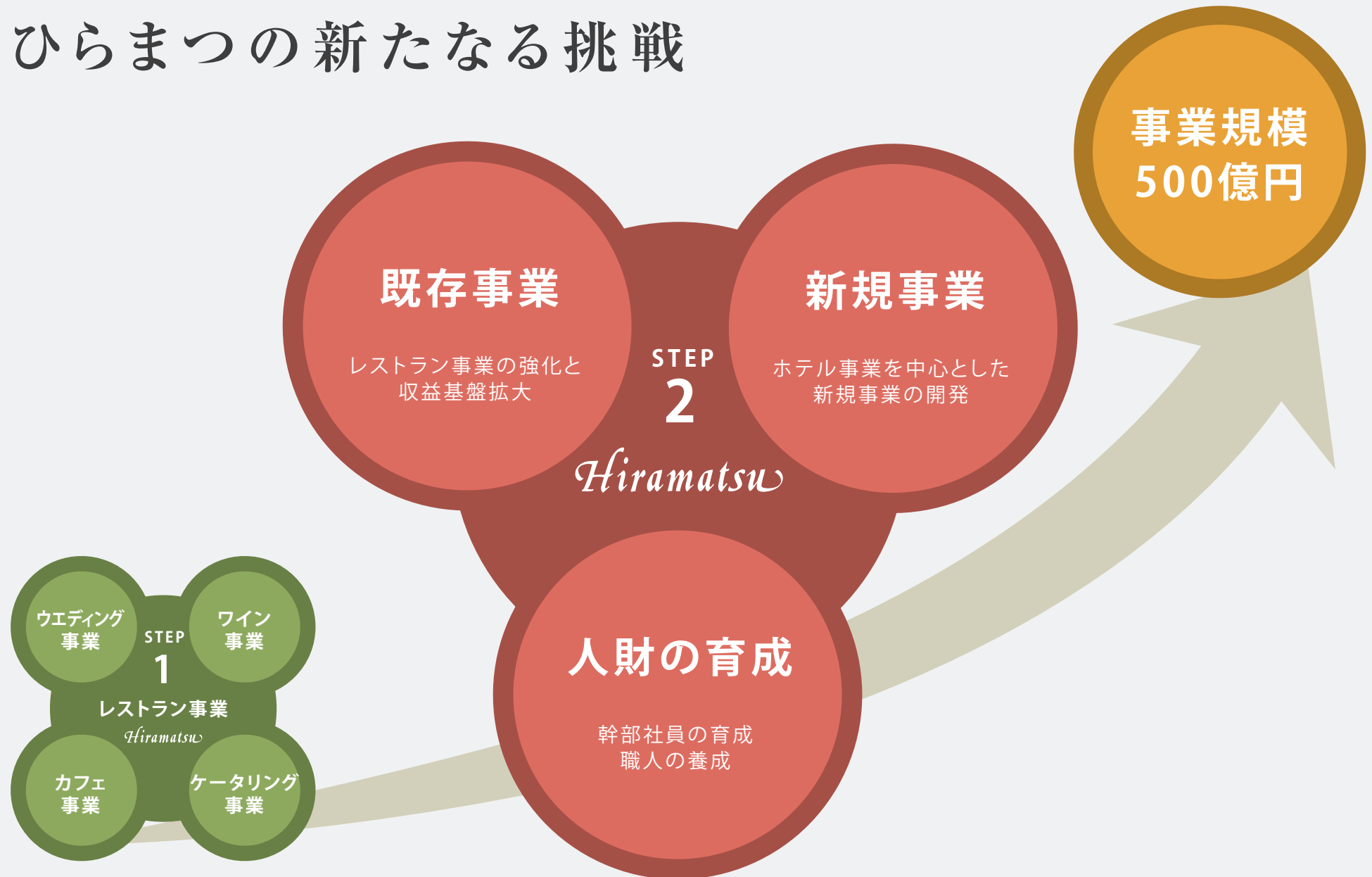
中谷 一則

取締役(新任)

長谷川 幸太郎

- 経営基盤の強化
- 既存事業の強化、推進
- 新規事業の強化、推進

ひらまつの新たな挑戦



事業規模300億円超の 事業をめざして

ホテル事業展開のイメージ

リゾート地における小規模滞在型ホテル
を皮切りにホテルブランドの構築をはかり、
近い将来都市型ホテルに参画。
売上高300億円超の事業規模を目指す。

都市型ラグジュアリーホテル
(50室規模)
3店舗

リゾート型ホテル(50室規模)
5店舗

スモール・ラグジュアリーホテル
15～20店舗

300億円
超

5年以降

10年以降

ホテルの開業予定



2016年冬
仙石原

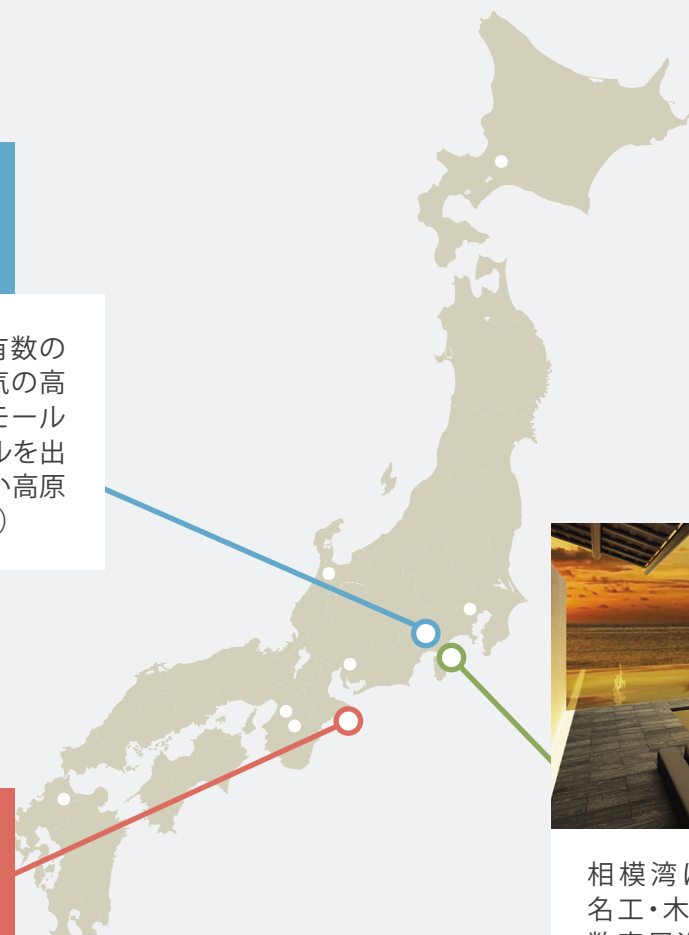
日本国内における有数の観光地の中でも人気の高い箱根仙石原にスモールラグジュアリーホテルを出

店いたします。都会の喧騒から離れ、清冽な水、心地よい涼風、美しい高原と森と至福の欧州料理をお楽しみいただけます。部屋数：11室(予定)



2016年7月
賢島

英虞(あご)湾に面し、周辺には伊勢神宮をはじめ、様々な観光地が散在するリゾート地にスモールラグジュアリーホテルを出店いたします。海の幸に恵まれ、鮑や伊勢海老など新鮮な魚介類を使った料理と、日本でも有数の美しさを誇る英虞湾の景観をお楽しみいただけます。部屋数：8室



2016年秋
熱海



相模湾に面する熱海の地に、現代の名工・木下孝一棟梁により建てられた数寄屋造りの建物を、和と洋の調和を創造する新たなヨーロッパの旅館として再生いたします。相模湾で獲れる新鮮な魚介類を使った料理と眼前に広がる海のパノラマを楽しめる癒しと寛ぎの空間となります。部屋数：13室(予定)

2018年夏、沖縄・宜野座に スモールラグジュアリーホテルを新規出店

「THE HIRAMATSU HOTELS & RESORTS」
ブランドにおける4つめのホテルとして沖縄・宜野座に
スモール・ラグジュアリーホテルを出店いたします。



沖縄・宜野座 2018年夏



沖縄・宜野座 2018年夏



出店場所 沖縄県国頭郡宜野座

出店面積 土地面積22,283㎡（6,740坪）
計画延床面積3,503㎡（1,059坪）

店舗設備 客室 18室

ホテル棟	客室 14室
ヴィラA棟	客室 2室
ヴィラB棟	客室 2室
レストラン棟	客席数 33席程度

出店時期 平成30年夏（予定）

想定売上 500百万円（開店翌期・予定）

宜野座は本島ほぼ中央の東海岸に位置し、古くは縄文時代から人々が生活していたと言われています。宜野座には祖先が眠る御嶽（ウタキ）やメーガー遺跡など多くの文化財が保存され、今も十五夜アシビなどの伝統芸能と共に継承されています。手つかずの自然が残る素晴らしいリゾート地にプライベートヴィラを配したスモール・ラグジュアリー・ホテルを出店致します。

新規レストランの出店予定

2017年(予定)

東京都千代田区
九段北



昭和初期最先端の技術を用いて建てられた
ヨーロッパ様式の希少な一軒家を改装し、
邸宅レストランとしてオープン。

面積 敷地面積 1,165㎡
計画延床面積 1,146.08㎡
既存棟 847.21㎡
増築棟 298.87㎡

予想売上高 800百万円(通年ベース)

千代田区の中心地、飯田橋駅、九段下駅に程近く靖国神社
や千鳥が淵のある自然豊かな立地。ウエディングもできる
パーティスペースを併設。

2017年(予定)

京都府東山区
桧屋町



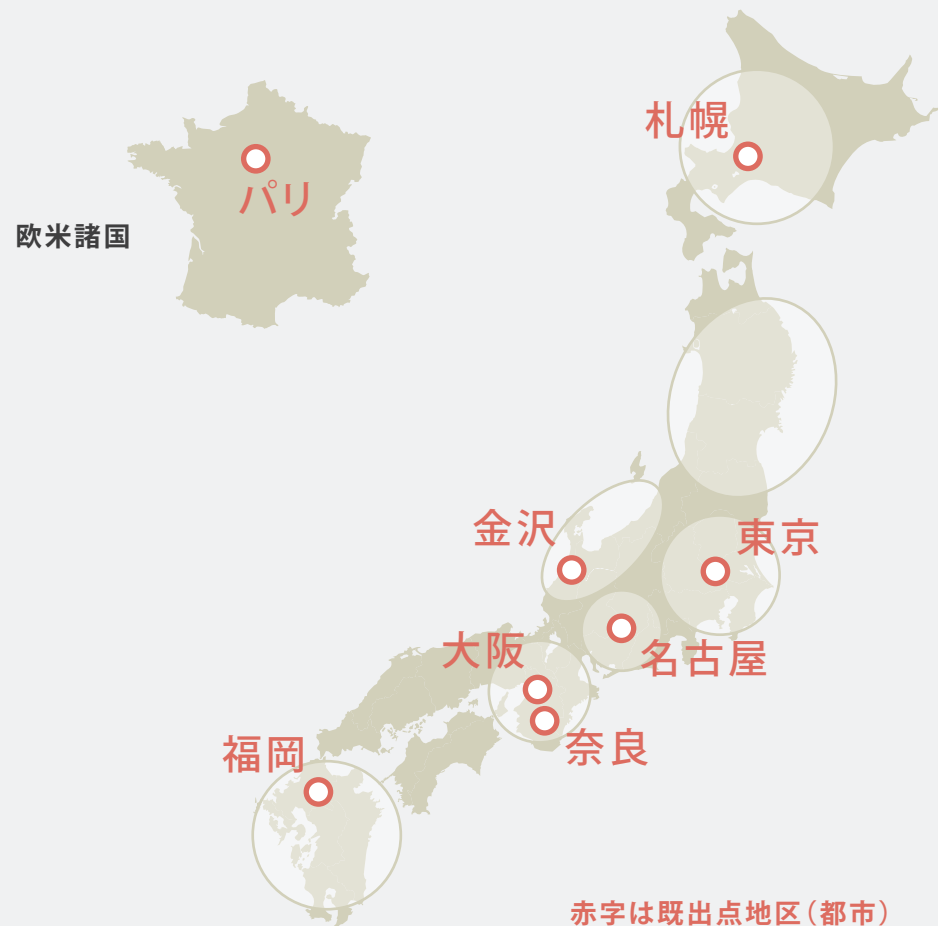
日本の料亭文化を継承する日本料理に加え、
京都の食材に彩られた京都発の
フランス料理を提供する当社初のブランド。

面積 土地面積 7,177.67㎡
延床面積 1,955.36㎡
予想売上高 800百万円(通年ベース)

平成26年12月に土地、建物を取得した料亭「高台寺土井」
を一部改装し本格稼働。数奇屋造りの名工・上坂浅次郎に
よって建築された本館と、植治とよばれた近代造園の先駆
者である庭園師七代目小川治兵衛が作庭した庭園は秀麗
の極み。

参考資料 [出店状況]

主要な9地区に旗艦店を配し、ガバナンスの強化と店舗開発を推進しております。
今後のホテル開発も見据え、仙台、広島に旗艦店を出店し、北関東・東北地区、
中国・四国地区の商圏を確保して参ります。



既存店舗 33 店舗

北海道地区	2店舗
北関東・東北地区	—
北陸地区	2店舗
首都圏地区	19店舗
中部地区	2店舗
近畿地区	4店舗
中国・四国地区	—
九州地区	3店舗
欧米諸国	1店舗

免責事項

本資料に記載されている事項は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料に記載されている、株式会社ひらまつグループの現在の計画、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定要素を含んでおります。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

最終的な投資決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。